

全日本ふぐ連盟

# 厚労省に署名提出へ

## 2月にも フグ資格制度改正求め

【大阪】全日本ふぐ連盟（大田晶子代表理事）はフグの取り扱いに関する資格制度の改正を求め、2月中にも署名を厚生労働省に提出する。大田代表が23日、明らかにした。

大田代表は「目標としていた署名3万を超えたが、住所不備など無効もあるため、できるだけ上積みを図りたい。2月下旬から3月上旬にかけて厚労省に提出する」と述べた。

大阪、京都、滋賀、三重から調理師が参加した

同日、JR大阪駅前ではフグ調理師免許の全国統一と国家資格化を求め、3回目となる街頭署名運動を実施した。大阪、京都、滋賀、三重から30人の調理師が参加した。日本調理師連合会の森口富士夫会長は「理解が進んできた」と手応えを語った。

